

「カルメリータ・ラヴェリント研究員」(フィリピン)



私はフィリピンから参りましたカルメリータ・ラヴェリントと申します。私は公認会計士をしています。2002年に民間防衛室(OCD)に採用され、主に政府業務を担当しています。現在は中央ルソン地域を管轄するOCD第3地域センターに勤務していて、特別支出・計画および予算管理をしています。また、職員の財務および経営支出の管理、早期資金の対応と信用基金の担当を行っています。

さらに、様々な学校で実施している地震防災ドリルの運営と合わせて、地方行政に対する災害リスク管理に関するワークショップやセミナーの準備や運営、緊急時対応の計画なども行っています。合わせて、担当地域において地域及び州の災害管理に関する協議会などの活動支援を行っています。

次にフィリピンの概要について説明申し上げます。フィリピンは世界でも最も災害の多い国の一つとして考えられています。また、環太平洋ベルト地帯の西縁に位置していて、地震はもちろん、嵐、台風、洪水、火山、干ばつなど多くの自然災害の影響を受けています。これらの自然災害は人々や経済にとって深刻なもので、特に人口密集地域ではそれが顕著となっています。本国においては、少なくとも60%の地域には自然災害の影響を強く受ける地域となっています。さらに、フィリピンの全人口の74%が自然災害に対して弱い立場にあると言われています。

私の担当する中央ルソンは、フィリピンにおいて最も発展している地域のひとつです。中央ルソンは、ヨーロッパやアメリカの企業にとって貿易の玄関口として機能しています。さらに、この地域はフィリピンでも最も広大な平原を有し、お米の生産地としても有名です。行政の単位としては、中央ルソンは7つの州、13の市と116の町によって構成されています。災害という視点では、特に台風や洪水の影響を多く受けています。

OCD第3地域センターの事務所は、上記の環境にある中央ルソンにおいて地域災害評議会の事務局として役割を担っています。さらに、緊急時における生命

や財産の保護や維持を目的として、政府関連機関、民間会社、市民団体の活動や役割を支援する役割を担っています。

最後に、ADRCのVRプログラムは私たちにとって素晴らしい機会となっています。ADRCの皆さんとの情報や経験の共有は、安全なコミュニティ確立の促進にむけた戦略的手法の開発の機会を与えてくれます。このような理由からVRプログラムは非常に効果的であるといえます。私はこのプログラムに感銘し、またADRCのVRのひとりとして機会を得られたことをとても嬉しく思います。

日本の開発は驚くべきもので、同様に素晴らしい災害対策が実施されています。周りを見てみると、豊富な森林、美しい水や空気、それを取りまく素晴らしい環境があります。とてもよい印象を持つことができます。日本における災害管理計画、プログラム、コミュニティにおける開発や努力の知識は、素晴らしい政府のリーダーシップの活動であると言えます。

最後に、日本政府とADRCに対して改めて感謝の意を表したいと思います。

●フィリピンのカントリーレポート

http://www.adrc.asia/nationinformation_j.php?NationCode=608&Lang=jp&NationNum=14